

まずは企画進行してくれたえみちゃん、お疲れ様でした。えみちゃんの自己開示が一番印象的だったし、企画者としての覚悟も伝わってきて、まずはそれがすごく良かったです。こうしたい！と口で言うだけなら誰でもできます。だけど、覚悟を示すことは本気の人でないとできないと思うので。

一方で、今回の自己開示の内容から、「自分に向き合う」ことの難しさも同時に感じました。私の音声での合宿の感想その1の内容は、この公開個別フォローで感じたことがきっかけです。

今回は「話しづらい」話を扱ったがために、話しづらいと自分が感じている理由に向き合うことになったのですが、それが「しんどい」と感じられているように思いました。私はみなさんほど「自分に向き合う」ことをしんどいものだと思っていなくて、ごく普通に日常生活として行っています。自分が理想の自分とは違っていたとしてもそんなに大きく落ち込むこともないし、理想の言動ができたとしても調子にのることもないし、淡々としていて、そのように淡々としていくことが大事だと思っています。

今回は、話を引き出すために「今まで言えなかった話」というお題にしましたが、そんな話がもうないくらいに普通に話しづらい話を話せている関係が理想だし、「話しづらいんだけどなんでだと思う？自分では気づけなくて」とか「うわー確かに本音はそう思ってる」くらいにライトに本音に気付いて、ライトに話せるのが理想です。

そういう理想と現在地のギャップが明確になった時間でした。

(今日個別フォローで突っ込んで質問してくれたあゆみさんありがとうございます。)

おひさまようこ